修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　鴻田好通
〒102-0074
東京都千代田区九段南
2－6－8九段南ビル
☎03（5275）6651
http://shugakuryoko.com
e-mail shuryo@h2.dion.ne.jp

財団法人全国修学旅行研究協会（全修協）は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団です。

第1回『修学旅行ホームページコンクール』（主催：財団法人全国修学旅行研究協会）優秀作品決定！

財団法人全国修学旅行研究協会主催による『第1回修学旅行ホームページコンクール』は、さる2月28日(木)、審査結果の発表が行われた。このコンクールは、各学校による修学旅行の目的、実施内容、事前事後学習など、様々な実践・工夫が掲載されている学校ホームページを、今後の修学旅行取り組みの参考事例として表彰、紹介を行うとともに、さらなるインターネットの活用を促進することを主な目的として位置づけており、今回、全国公私立の小・中・高等学校から391点の参加作品が寄せられていた。

優秀校の選出にあたっては、教育関係者を中心とする審査委員会により、掲載の内容とビジュアルの両面による審査基準により厳正な審査が行われた。現在の修学旅行におけるインターネット利用は、事前事後学習のまとめ、情報収集、旅行中の学校・保護者との連絡ツールとしての役割など、様々な方面への広がりを見せており、今回の表彰作品の数々は、各校の学習テーマ・特色が存分に活かされているものばかりであった。

なお、平成14年度は第2回の開催も予定されており、今後の展開が期待されている。詳細は全国修学旅行研究協会ホームページ「修学旅行ドットコム」(http://shugakuryoko.com)へ。

審査の基準

（1）内容

・旅行行程表の掲載等による、修学旅行中の主な訪問箇所、及び生徒・児童らの具体的な行動内容。

・修学旅行の実施上での明確な学習テーマ（例）環境問題、職業体験など）及び目的。全体の流れに一貫性があるか。

・学習内容（体験、施設見学等の具体的な活動）及び学習方法（グループ別、課題別、テーマ別など）についての詳細な掲載の有無。それらの活動を通して得られた学習効果。

・事前、事後学習、及び準備内容等の充実度。

・生徒及び教員の感想、意見。今後の課題、問題点等。

（2）ビジュアル

・ホームページとしての全体的な構成とデザイン面、客観的な見やすさ。

・画像、動画等の適切かつ効果的な使用。

・事前から実施、事後に至る、修学旅行取り組みの流れの明確な区分。分かりやすさ。

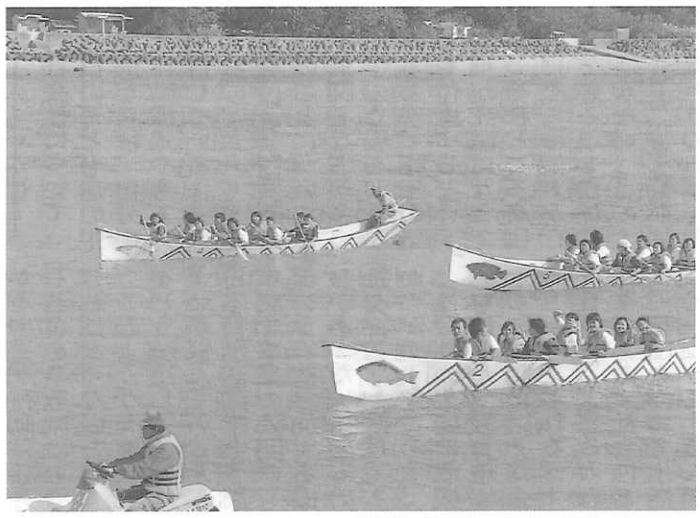
・旅行実施中の、保護者や在校生らに向けた同時画像配信など、各学校における特色ある工夫。

第1回「修学旅行ホームページコンクール」受賞校

≪大　賞≫
山口大学教育学部附属山口小学校（山口県）

≪部門別最優秀作品賞≫
○高等学校部門
清心女子高等学校（岡山県）
○中学校部門
文化女子大学附属杉並中学校（東京都）
○小学校部門
（該当なし）

≪入　選≫
北星学園余市高等学校（北海道）
群馬県立尾瀬高等学校（群馬県）
千葉県立木更津高等学校（千葉県）
近江兄弟社高等学校（滋賀県）
大阪府立阪南高等学校（大阪府）
兵庫県立西宮今津高等学校（兵庫県）
名古屋市立城山中学校（愛知県）
幸田町立北部中学校（愛知県）
多治見市立北陵中学校（岐阜県）
積丹町立美国小学校（北海道）



エメラルドグリーンに輝く海で
マリンスポーツ（サバニ）を体験
（大阪府立茨田高等学校）

5人以上の訪中修学旅行団体はノービザ
中日国交正常化30周年で、修学旅行団に便宜

●中国政府は、2002年から訪中の日本青少年修学旅行団に対し、ノービザ政策を発表しているがその実施要領が1月31日中国国家観光局（東京）から発表された。実施要領の抜粋は以下の通り。

訪中日本修学旅行団体に対するノービザに関しての実施要領（抜粋）

●本要領は日本側学校の在学中の高等学校、中学校、小学校の訪中修学旅行団体に適用する（以下修学旅行団と略称する）。

●修学旅行団体のメンバーは日本普通パスポート（旅券）を所持すべき、人数は5人以上（添乗員含み）であるべきこと。

●修学旅行団の中国側受け入れ旅行社は国家観光局の認可と法律によって登録した国際旅行社（以下受け入れ社と略称する）であるべきこと。

●修学旅行団は中国各省、自治区、直轄市観光局（委員会）配布、各受け入れ社担当の「日本修学旅行団来華旅游団名単表」（以下名単表と略称する）により、国外で飛行機に搭乗し、しかも、中国の外国人向けの開放ポートから入出国する場合、ノービザで、中国国内で30日間滞在できる。（以下、略）

●日本側の主催旅行社は英文で中国側旅行社提供の「名単表」に書きこむこと。（中略）日本側主催の旅行社が書き込んだ「名単表」をファックスで中国受け入れ旅行社へ送るべきこと。

日本側主催旅行社が中国側受け入れ社に日本の学校と調印した「委託書」のコピーを提供すべきこと。

●中国側受け入れ社が日本主催社提供の「名単表」と「委託書」コピー件によって、中国各省、自治区、直轄市旅游局（委員会）にノービザ審査手続きをする。

●修学旅行団の入国の便利を図るために、中国側受け入れ社が審査後の「名単表」を修学旅行団入国前の1日前に旅行団入国ポートの入管のほうにファックスして事前審査をすべきこと。

事前審査済みの旅行団ネームリストに入国時、原則的に団員の減少が可能、団員の増加とチェンジができないこと。

●修学旅行団が事前審査済みのポートから入国すべき、入国の時、入管のほうにパスポート（旅券）、審査済みの「名単表」元本（二部）を提出すべし、修学旅行団団員は「入出国カード」をいらない。（以下、略）

●各受け入れ社が修学旅行団に添乗員を随行すべきこと。

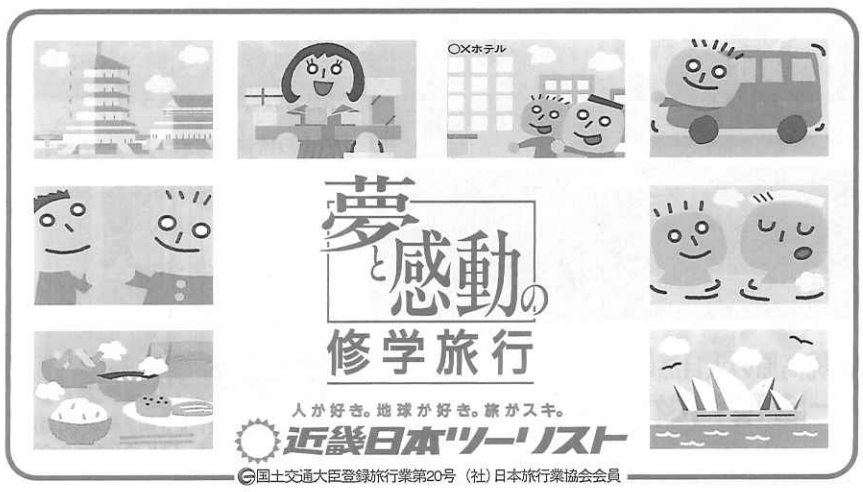
●修学旅行団メンバーが中国国内で観光期間中、集団行動し、集団で出国すべきであること。修学旅行団の団員が如何なる原因で旅行団と一緒に出国できない場合、受け入れ旅行社が公的書類と「名単表」を持ち、現地の公安機関に団体離れ手続きをすべき。

●修学旅行団メンバーの所持の荷物は「中華人民共和国税関の出入国旅客に対する管理方法」に基づき処理する。

風紋

春三月、学校の一年も終わる。そして卒業。中学、高校の三年間はあっという間である。長い間の慣習的感覚もあるが、卒業・入学・社会人、巣立ちには春が一番相応しい。陽光は一日ごとに輝きを増す、呼応して生きとし生けるもの全てが新たなるエネルギーを燃やし始める▼春分の日を境に昼と夜との時間が逆転する。太陽の復活である。キリスト教でいう「復活祭」は春分の日の後に設定されている。日本では春分の日を仏教のいう彼岸の中日という捉え方がある。彼岸とはことの成就を意味する日本独特の考え方である。北風と太陽、温かな陽光をいっぱい受けると人は誰も元気を回復する▼四月から、ゆとりと充実の完全学校週5日制が始まる。これまで学校は多くのことを抱え込んできた。期待も大きかった。今、改めて学校の存在が問われているようだ。学校は何をどう充実すべきなのであろうか▼「不来方の　お城の草に寝ころびて　空に吸われし　十五の心」。十五の心、様々な巣立ちがあろう、義務教育を終われば一人前と考えたい。「その親にも、／親の親にも似るなかれ／かく汝が父は思へるぞ、子よ・啄木」。親心が切ない。

（鴻）



行ってよかった沖縄修学旅行

～自分の目で確かめた平穏無事な沖縄のすがた～

大阪府立茨田（まった）高等学校　教諭　湯前　登

私たち大阪府立茨田高等学校26期生（第2学年）は、昨年のアフガン紛争のさなかである11月16日から19日まで、沖縄修学旅行を実施した。

本校は1学年7クラスの全日制普通科。大阪市の東、鶴見区にある府立高校である。学力面で自信を持つ生徒は少ないが、明るく素直な生徒が多い。中にはいろいろな問題を抱えた生徒もいる。しかし、ほぼ全員の生徒が修学旅行に行って良かったという。

本校の沖縄修学旅行の歴史は新しい。今年度で2回目である。その前10年ほどはスキー修学旅行だったが、人権教育をきちんと出来る沖縄はどうかと言うことを主とした理由に沖縄に行くことになった。来年度も沖縄行きが計画されている。

修学旅行の概要は次の通り。

1日目はガマ（自然の洞窟で避難壕に使用されていた）などで平和学習、2日目と3日目はマリンスポーツとエクスカージョンタイム（各種体験学習で各自選択するもの。以下EXTと表記）。4日目は国際通り自由散策などの観光。3泊とも本部町のマリンピアザオキナワでお世話になった。沖縄大阪間は飛行機利用。

テロの影響によって中止やむなしかともおもわれたが、行けてよかった。

その理由は次の3点である。

1　風評に惑わされず、自分の目で確かめることの大切さを知ったこと。

沖縄は平穏無事だった。

2　本当の平和学習ができたこと。

「本当に沖縄が危険なら、私たち住んでいる者は危険のままでいいの？」。バスガイドさんらをはじめ、こういう生の声が聞けた。自分たちだけが平和では駄目なのだ。

3　「安全」について考えられた。

テロはニューヨークで起こった。世界中、絶対の安全などはない。

次に実施できた理由を4点あげてみる。

1　生徒の取り組みが早くからなされており、スムーズに運んでいた。

事前の人権学習（映画「月桃の花」・大城さんの講演（沖縄戦で女性の姿をさせられていた人）、生徒教員有志による大阪空襲戦跡巡りなど）も適宜行ったが、生徒と教員が一緒になって作り上げたものをそう簡単には変更できない素地があった。

2　保護者の理解。

「うちの子をそんな危険なところへは行かせない。」という方もおられたが、保護者会を開いたりプリントを配布したりして理解を求めると、冷静な判断をしていただけた。保護者会は事前にPTA学年委員会を開き、十分説明してから望んだ。学年委員長が保護者説明会の最後に「不安がありますが、熱心な先生達にお任せします。」とおっしゃったのは、忘れられない。保護者説明では、旅行社にも協力いただき、感謝している。

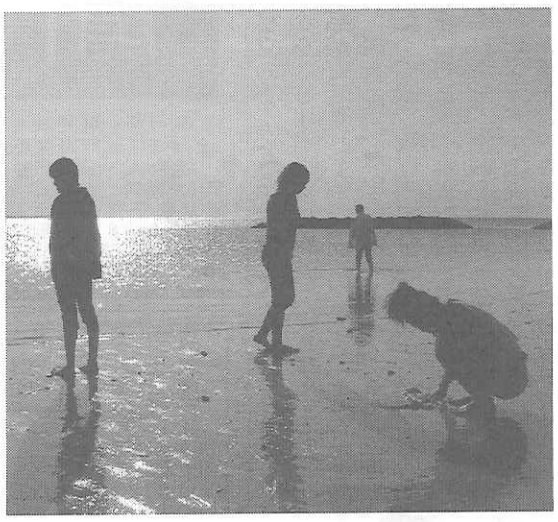
3　学校長のリーダーシップ。

保護者説明会では教頭が「中止にする理由は今のところないのです。」と言い切った。校長は修学旅行に行ったが、EXTで三日目に伊江島サイクリングのとき、米軍基地を視察。「兵隊が笑いながらバスケットボールをしてたで。」と報告してくださる。

4　確かな情報分析。

インターネットで現地情報を多く得た。個人的なつながりで、防衛庁からも情報を得られたのも大きい。

最後に。こんなご時勢だからこそ平和教育は生徒によく浸透。また、豊かな自然は人を優しく、素直にさせる。「水色」の海、星空、花、そして親切な人々、沖縄はまさに宝の島。皆様も是非沖縄へ。



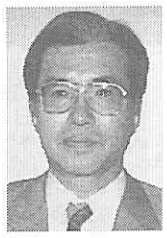
エメラルドビーチ（海洋博）

真ん中・修学旅行委員長

教育の窓

社会性の育成

東京農業大学教授
元文部省主任視学官
渡部　邦雄



一　社会性について

今日の子ども達の生活実態からは、自分中心の行動様式や考え方が横行しているように見える。

自分以外の周囲の人々のことについては、全く無関心な者が多い。

相手の立場をおもんばかるとか、相手の気持ちを付度するといった言葉が死語になっている。それどころか物理的にそこに他人が存在していること自体にも関心がない。このような若者が多数派になったときの日本を考えると恐ろしくなる。

集団や社会を構成している一人として、自分はどう在るべきか、どう行動したらよいのかを考え、行動に移せる若者を多数派にしなければならないと思う。

このような問題状況をどう解決していけばよいか悩んでいるとき、日本特別活動学会十周年記念事業の公開シンポジウムに参加する機会があった。「子どもの社会性をどう育てるか」がテーマである。

社会性の欠如に危機感を抱いた、教育現場からの要請に応えた企画とも考えられる。

社会性の捉え方は様々である。社会性とは、集団を作って生活していこうとする人間の本質を指すものであるとか、人間社会の中で適応して生きていくく、他人とよい関係を作り、社会の運営に積極的にかかわっていく力であり、それこそが今必要なのであるといった意見もあった。

例えば、社会性と言うよりは、社会力と考えた方がよく、社会力とは、反社会的問題行動さえ起こさなければそれでよいといった後ろ向きな考え方ではなく、社会性だけでなく社会的行動力を含めて社会力と捉え、学力と一体になった力の育成こそが、社会人にとって求められているのだとの主張もあった。

二　どう育成するか

社会性の捉え方は多様であっても、自分以外の他者とのかかわりを大切にする点、所属する社会に適切に適応していく点などは共通であろう。

しかし、最近はこのような個人の人格特性に傾斜した捉え方だけではなく、これからは社会の構成員として、その発展に寄与したり、運営に携わったりする資質や能力をも含めた、より積極的な意味を込めた捉え方が強くなってきている。

このように考えると、「生きる力」の育成を目指す学校教育では、その核となる豊かな人間性の育成に当たり、感性、倫理観、正義感、思いやる心などとともに、他者との共生や異質なものへの寛容、責任感、社会貢献の精神などに焦点を当てた指導を意識的、継続的に行うことが大切になってくる。

そのためには、各学校ではボランティア活動などの社会体験の導入、生き方指導としての進路指導の充実、総合的な学習の時間のねらいを十分に確認した指導、道徳、特別活動の時間の確保と充実した指導などを真剣に考え、具体的実践に移すことが緊急課題となる。

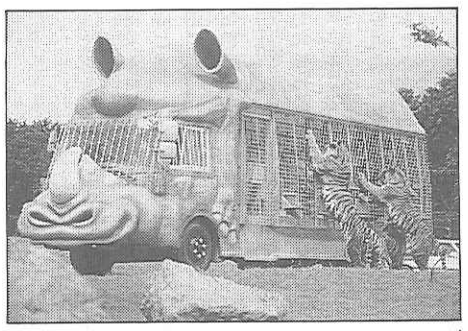
中でも、「望ましい集団活動」や「為すことにより学ぶ」ことを方法原理、特質としている特別活動の重視こそが、課題解決への最短距離であろう。

異年齢の集団活動、社会奉仕等の体験活動、ミニ社会である学級集団や学年集団での実践活動、学校行事への取り組みなどが、社会性や社会的な実践力、行動力の育成に大きく寄与する。

そこで培われた資質、能力、態度が基盤となって、道徳、総合的な学習の時間、進路指導などの場や機会に生かされ、相互に作用し合い、効果的な学習成果をもたらすのである。

◇　◇

動物たちとふれあいながら楽しく学ぶ。

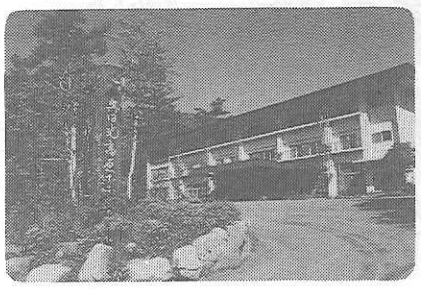


ジャングルバスチャーター料金1台17,000円（通常21,000円・定員30～35名）

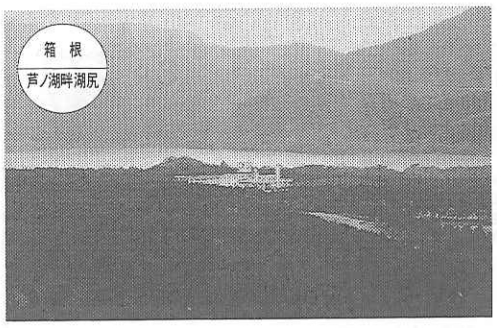
●営業受付時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金（消費税含む）
高校生 1,200円　中学生 900円
小学生 800円
※ガイドラジオ　バス1台につき1,100円

九州自然動物公園
アフリカンサファリ
〒872-0722 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
TEL(0978)48-2331(代)　FAX(0978)48-2330

●修学旅行／林間学校／スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語らい……



夏は林間学校、冬はスキー
自然探勝の基地として日光国立公園
内にたつ当ホテルをご利用ください
鉄筋3階建／小学生550名／中学生550名／
高校生450名収容／大浴場あり
奥日光高原ホテル
〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)



湖尻高原の大自然に抱かれて
ハートフル・コミュニケーションをお約束します。

豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。
箱根高原ホテルは、深い緑の中に
700名収容の大ホールや、
中小の研修室など、
数々の施設が整っています。
その他体験コースもいろいろ。
心にのこる想い出づくり
感動づくりに素晴らしい環境です。
箱根高原ホテル
〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595(代)　FAX.(0460)4-9488